



2018年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2017年7月5日

上場会社名 株式会社 サンデー

上場取引所 東

コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 和嶋 洋 TEL(0178)47-8511

四半期報告書提出予定日 2017年7月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年2月期第1四半期の業績 (2017年3月1日~2017年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年2月期第1四半期	12,459	△0.8	412	4.7	417	4.7	379	99.6
2017年2月期第1四半期	12,554	—	394	—	398	—	190	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2018年2月期第1四半期	35	28	35	16
2017年2月期第1四半期	17	67	17	62

(注) 2017年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、2016年2月期第1四半期が四半期連結財務諸表のみを開示し四半期財務諸表(個別)を開示していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年2月期第1四半期	33,775	10,619	31.3
2017年2月期	32,145	10,338	32.0

(参考) 自己資本 2018年2月期第1四半期 10,567百万円 2017年2月期 10,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2017年2月期	—	0 00	—	10 00	10 00	00
2018年2月期	—	—	—	—	—	—
2018年2月期(予想)	—	0 00	—	10 00	10 00	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年2月期の業績予想 (2017年3月1日~2018年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	25,500	1.6	770	1.0	790	1.3	450	7.1	41.80	—
通期	49,000	3.3	780	3.2	800	2.6	460	45.5	42.73	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年2月期1Q	10,770,100株	2017年2月期	10,770,100株
② 期末自己株式数	2018年2月期1Q	4,484株	2017年2月期	4,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年2月期1Q	10,765,632株	2017年2月期1Q	10,765,787株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については〔添付資料〕P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2017年3月1日～2017年5月31日）における東北地方の経済は、労働力人口の減少を背景とした有効求人倍率の上昇など雇用環境の改善は見られましたが、可処分所得の伸び悩み等の影響を受け生活防衛意識が高く、消費マインドは冷え込んだ状態が続き、個人消費は力強さを欠くものとなりました。

このような環境のもと、当第1四半期累計期間は、お客さまへ買い物している時間を有効に活用していただくため、青森市にあるイオンタウン青森浜田の核店舗であるサンデー青森浜田店に当社が運営するカー用品専門店のGATERAを導入いたしました。GATERAは、“GARage with TENDER and RAPID”（真心を込めて迅速にあなたの愛車をメンテナンスします）の頭文字を取っており、ショッピングセンター内で買い物“がてら”に愛車のメンテナンスを行っていただきたいという想いを込めた名称でございます。GATERA導入後はショッピングセンターにご来店いただいている女性やシニアのお客さまなどにご利用いただいております。

また、既存店の活性化といたしましては、八戸根城店の売場を大きく変える改装を実施いたしました。この活性化ではホームファッションの品種構成を見直し、電化製品の品揃え充実を図っております。また、高齢化の進行により上昇傾向となっている美容や健康に対するニーズへお応えするためにフィットネス商品の品揃えを拡充しております。同店は医薬品の販売も行っておりますので、今回の活性化により美容と健康のニーズ全般にお応えできる品揃えに変更いたしております。

商品面では、低価格志向に対応して価格訴求を強化したティッシュペーパーやボディソープなどの日用消耗品やジュース、コーヒーなどの飲料が堅調に推移しましたが、3月に例年ない残雪があったことによる影響を受け、花壇ブロック、ラティスなどのガーデン用品や、波板などの屋外補修用品が低調に推移しました。

一方、サービス面といたしまして、対応店舗を増やしているSUN急便、いわゆる「商品を宅配するだけでなく、補修・修繕・取付まで行うサービス」の実施店舗を秋田市内のホームセンター全4店舗へ拡大いたしました。たくさんのお客さまにご利用いただき、ホームソリューション（住まいに関する不満の解消）に役立てていただいております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は124億59百万円（前年同期比95百万円の減）、営業利益は4億12百万円（前年同期比18百万円の増）、経常利益は4億17百万円（前年同期比18百万円の増）、四半期純利益は3億79百万円（前年同期比1億89百万円の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に対して16億30百万円増加し337億75百万円となりました。これは主に新規出店及び春商戦による商品在庫増加7億83百万円、受取手形及び売掛金の増加2億35百万円、現金及び預金の増加1億87百万円、有形固定資産その他（建設仮勘定等）の増加4億1百万円等によるものであります。

負債については、前事業年度末に対して13億48百万円増加し231億55百万円となりました。これは主に商品仕入れ増加による支払手形及び買掛金の増加17億55百万円等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に対して2億81百万円増加し106億19百万円となりました。これは主に四半期純利益3億79百万円の計上と配当金の支払い1億7百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2017年4月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,073	793,770
受取手形及び売掛金	326,122	561,175
商品及び製品	8,958,140	9,741,351
原材料及び貯蔵品	156,040	190,458
その他	653,668	835,715
流動資産合計	10,700,046	12,122,470
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,019,840	6,875,821
土地	8,493,600	8,493,600
その他（純額）	2,772,865	3,173,865
有形固定資産合計	18,286,305	18,543,287
無形固定資産		
その他	89,138	88,133
無形固定資産合計	89,138	88,133
投資その他の資産		
その他	3,077,478	3,029,189
貸倒引当金	△7,754	△7,754
投資その他の資産合計	3,069,723	3,021,435
固定資産合計	21,445,167	21,652,855
資産合計	32,145,214	33,775,326
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,022,749	9,778,652
短期借入金	3,580,000	1,840,000
1年内返済予定の長期借入金	1,527,088	1,717,100
未払法人税等	385,978	219,537
賞与引当金	413,277	234,011
その他	1,858,926	2,141,764
流動負債合計	15,788,020	15,931,066
固定負債		
長期借入金	3,766,700	5,023,100
退職給付引当金	280,594	275,623
資産除去債務	623,652	612,207
その他	1,347,924	1,313,472
固定負債合計	6,018,871	7,224,403
負債合計	21,806,891	23,155,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,241,894	3,241,894
資本剰余金	3,256,274	3,256,274
利益剰余金	3,781,996	4,054,132
自己株式	△3,578	△3,632
株主資本合計	10,276,586	10,548,669
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,881	18,581
評価・換算差額等合計	22,881	18,581
新株予約権	38,853	52,605
純資産合計	10,338,322	10,619,855
負債純資産合計	32,145,214	33,775,326

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成28年3月1日 至平成28年5月31日）	当第1四半期累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年5月31日）
売上高	12,554,999	12,459,104
売上原価	8,783,659	8,638,058
売上総利益	3,771,339	3,821,046
販売費及び一般管理費	3,376,944	3,408,182
営業利益	394,395	412,863
営業外収益		
受取利息	762	897
受取配当金	1	601
受取手数料	1,661	1,727
受取賃貸料	23,915	27,638
その他	4,752	4,147
営業外収益合計	31,093	35,012
営業外費用		
支払利息	19,142	17,870
賃貸費用	5,946	10,029
その他	1,795	2,696
営業外費用合計	26,885	30,596
経常利益	398,603	417,279
特別利益		
受取補償金	—	167,936
特別利益合計	—	167,936
特別損失		
固定資産除却損	19,115	5,070
店舗閉鎖損失	—	23,067
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	11,641
特別損失合計	19,115	39,779
税引前四半期純利益	379,488	545,436
法人税、住民税及び事業税	236,025	185,936
法人税等調整額	△46,782	△20,302
法人税等合計	189,243	165,634
四半期純利益	190,244	379,801

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。